授業科目名	ジェンダー論	単位数	2単位
担当教員名	髙木由起子	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）			

「学位授与の方針」との関係

DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）
DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる（継続力）

授業のテーマ及び到達目標

（１）女性の性に関する偏見等について理解する。
（２）ジェンダーとは何かを理解し、性別という概念の社会的構築を理解する。
（３）ジェンダーにおける身体、アイデンティティ、表現の多様性を理解する。
（４）ジェンダー不平等の根源を理解し、ジェンダー平等のための取り組みを考察する。

授業の概要

「自分らしさ」ってなんだろう。そんな疑問から考えてみましょう。自分らしさを主張することでいじめに遭い、自分らしさを隠してきただろう。近年、「ジェンダー」や「性の多様性」という言葉はメディアを通じてよく耳にするようになったが、これらの言葉は幅広い。この授業では、ジェンダーの基本的な概念および関連する現代的な問題について探究し、ジェンダーが社会や文化にどのように影響を与えるか理解する。

授業計画

１　こころと体の変化
２　女性の月経
３　PMSとは
４　月経中の食事の摂り方
５　妊娠・不妊・人工妊娠中絶について
６　性感染症
７　ジェンダーとは何か？性別とは何か？
８　ジェンダーの歴史的背景と変遷
９　性別で分かれているものとは
10　ジェンダーと学校教育
11　カミングアウトとアウティング
12　当事者の今
13　性暴力・性被害
14　今の日本と将来の日本
15　まとめ
科目修得試験

スクーリングでの学修

①ジェンダーに関する用語や概念を共有し、理解を深める。②実生活でのジェンダーに関する事例やケーススタディを使用して、学修を深めていく。③グループワークを通じて、異なるジェンダー経験や視点を共有しあう。

テキスト

特に指定しない。Googleクラスルームにて、資料を掲載する。

参考書・参考資料等

飯田貴子・熊安貴美江・來田享子（2022）『よくわかる　スポーツとジェンダー』ミネルヴァ書房　9784623081561

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）